

報告書抄録

ふりがな	あさかしまいぞうぶんかざいはつくつちようさほうこくしゅうほうさん							
書名	朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告集報3							
副書名	人部・峽遺跡第7地点 行人・金子塚下遺跡第4地点							
シリーズ名	朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第38集							
編著者名	照林敏郎・斉藤 純・中條英樹・大角謙一・野神 伸							
編集機関	朝霞市教育委員会(文化財課)							
所在地	〒351-0007 埼玉県朝霞市岡2-7-22					TEL048-463-2927		
発行年月日	西暦2013年(平成25年)3月28日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
にんべ 人部・峽遺跡 第7地点	さいたまけん あさかし 埼玉県朝霞市 みやど ちようめ 宮戸四丁目 737-2・ 738-1の一部・ 739・ 741-1の一部・ 744-3の一部	11027	008-013	35度 49分 26秒 ～ 28秒	139度 35分 35秒 ～ 37秒	2009年 10月9日 ～ 11月9日	411.12	記録保存 調査
ぎょにんづか 行人塚・金子塚 下遺跡 第4地点	さいたまけん あさかし 埼玉県朝霞市 みなぬま ちようめ 溝沼二丁目 1588-7	11027	008-043	35度 48分 6秒	139度 35分 27秒	2012年 7月5日 ～ 7月12日	138.5	記録保存 調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
人部・峽遺跡 第7地点	包蔵地 古墳・墓	縄文時代	ピット1基	縄文土器 石器	古墳周濠縁に造られた 土壇墓から鉄鎌が出土。
		古墳時代 後期後半	古墳周濠1基 土壇墓2基	須恵器 土師器 緑泥片岩 鉄製品	
	その他	溝3条 土坑4基 ピット群	陶磁器		
行人塚・金子塚下遺跡 第4地点	集落	縄文時代	住居跡1棟 埋設土器4基 炉穴5基 土坑3基 集石土坑1基 ピット8基	縄文土器 石器	住居跡から加曽利EIV式 の埋設土器2基が出土。
要 約	<p>人部・峽遺跡では過去8次にわたる調査のうち第1地点および第3地点から古墳時代後期の円墳周濠が確認されている。本第7地点では墳丘が完全に削平されていたが、古墳周濠内から須恵器、土師器や埋葬施設に関連すると考えられる緑泥片岩の破片が出土した。</p> <p>また、周濠の外縁部において土壇墓が2基検出され、第2号土壇墓では古墳時代後期後半の鉄鎌が推定4点以上副葬されていた。</p> <p>本遺跡内にある内間木古墳群の実態を考える上で重要な資料を得ることができた。</p> <p>行人塚・金子塚下遺跡では過去3次にわたる調査があるが、これまで土器や石器などの遺物の出土はあるものの、縄文時代に属する遺構は明確なもので第3地点の集石遺構2基があるのみで検出はそれほど多くはなかった。</p> <p>上面を大きく削平されていたものの、本第4地点で縄文時代中期後半を中心とする集落跡が検出されたことは、本遺跡の縄文時代の実態を探る上で貴重な資料となると考えられる。</p>				